

見逃せない、
京都の最前線スタートアップ!

参加費
無料

定員
100名

 ウェビナー

京都市ベンチャー企業目利き委員会

第6回 Aランク認定企業 ビジネスマッチング会

京都市及び(公財)京都高度技術研究所が実施している「京都市ベンチャー企業目利き委員会」においてAランクの認定を受けた企業が、自身の持つ独自技術や製品を発表する「Aランク認定企業ビジネスマッチング会」を開催します。

これまでのマッチング会には、VC、金融機関、事業会社、支援機関など、毎回多くの皆様にご参加いただいております。本会をきっかけに、新たな出会いが生まれ、数多くのマッチング面談へとつながっています。

2026 **11.6** 金
15:00 ▶ 16:30

マッチング会のポイント!

- ✓ 成長中のスタートアップの最新動向がわかる!
- ✓ 自社にない技術やアイデアと出会える!
- ✓ 出資・提携先となる有望企業を発掘できる!
- ✓ 協業パートナーを見つけられる!



開催方法

オンライン (Zoomウェビナー)



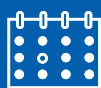
発表内容

Aランク認定企業7社による
独自技術や製品に関する発表



参加対象

国内企業、産業支援機関、
金融機関、VC、CVC等



申込締切

2026年11月5日(木)



詳細・参加申込URL

<https://www.astem.or.jp/smes-venture-mekiki/businessmatching20261106>



お申込みはこちら ▶



登壇企業

※本マッチング会に参加後、発表企業に興味のある参加者は、事務局までご連絡(マッチング会終了後に提出をお願いするアンケートへの回答)をお願いいたします。事務局から発表企業へ連絡します。ご不明な点は裏面の事務局にお問合せください。

JOYCLE

(株)JOYCLE



AC Biode(株)



RadioNano
Therapeutics(株)



ホロバイオ(株)



(株)アイ・エレクトロライト



(株)カワノラボ



(株)オートインスペクト

主催：京都市、公益財団法人京都高度技術研究所

後援：経済産業省近畿経済産業局、京都商工会議所、独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部、
一般社団法人京都知恵産業創造の森、京都リサーチパーク株式会社(順序不同)



時刻	プログラム
15:00	開 会
15:05	分散型ごみ資源化インフラ JOYCLE BOX の共創 株式会社 JOYCLE 代表取締役社長 小柳 裕太郎 当社は「資源と喜びが循環する社会」を掲げ、データを可視化しながら、ごみを運ばず、燃やさず、発生源で減容・資源化する小型分散型プラント「JOYCLE BOX」を開発・提供しています。自治体、病院、工場、離島地域等に対し、運搬・焼却に依存しない新たな廃棄物処理モデルを提案し、処理コスト削減、CO₂排出削減、資源循環の高度化に貢献します。本会では、販路開拓、OEM・製造パートナー開拓、量産・社会実装に向けた資金調達パートナーとの出会いを希望します。
15:15	水と触媒を用いた混合廃プラ・有機廃棄物等の分解 AC Biode 株式会社 研究開発部長 中川 真暢 従来リサイクルの難しかった、混合廃プラや混合衣類、薬のPTPシート、PCBやCFRP等を独自触媒を用いてモノマーやガス・有機酸・アルコールなどに分解する技術の開発を行っています。樹脂内に含まれた金属類や炭素繊維も無傷で回収可能です。2027年には商業プラントを持つ予定です。これらの廃棄物を出す企業やケミカルリサイクル技術を求めている会社とのマッチングを希望します。
15:25	中性子捕捉療法によるがん治療のための新規ホウ素ナノ製剤の開発 RadioNano Therapeutics 株式会社 代表取締役社長 千葉 雅俊 私たちは、がん細胞にホウ素を選択的に届けるBNCT（ホウ素中性子捕捉療法）用薬剤を開発しています。薬剤（RN-501）による腫瘍へのホウ素集積性を高め、正常組織への影響を抑えることで、がんをより選択的に攻撃する治療の実現を目指します。RN-501を通じて、「からだ」への負担を抑えながら、患者さん一人ひとりに適した次世代がん治療を支える医薬品の社会実装に取り組み、国内外の医療機関・製薬企業等との連携や販路開拓、技術マッチングを進めてまいります。
15:35	「腸内細菌」の力で水産養殖を変える革新的プロバイオティクス技術 ホロバイオ株式会社 事業部長 土谷 真咲 京都大学発スタートアップ・ホロバイオは、約3,000種の魚由来の機能性腸内細菌を活用し、養殖魚の成長促進、高水温耐性の付与、無魚粉飼料への適応を達成する革新的な養殖技術を開発しました。独自の菌体製品の販売に加え、陸上養殖への技術応用や地域ブランド魚の生産など、水産養殖に関わる幅広い事業を展開しています。製品の本格的な社会実装に向けた開発・販売パートナー、体制構築のための資金調達(SeriesA)についてお話できる投資家等との出会いを期待しています。
15:45	安心・安全なイオン液体リチウムイオン二次電池 株式会社アイ・エレクトロライト 取締役 業務推進ディヴィジョンGM 石古 恵理子 近年、リチウムイオン二次電池の発火事故が増加し、安全性が社会課題になっています。当社は、非危険物のイオン液体を溶媒とする電解液を用いたリチウムイオン二次電池（i-LiQ）を開発しました。この社会課題を当社電池で解決できる可能性があります。加えて、作動温度範囲が従来の-10℃～50℃から-40℃～80℃に拡張しました。安全に広い温度範囲で電池を使用したい用途でお困りの方、当社電池のご提供や共同開発が可能です。また、今後の事業化を目指し提携パートナー（出資含む）を求めています。
15:55	泡・液・粒子の界面にある可能性 株式会社カワノラボ 代表取締役 河野 誠 弊社は大阪大学分析化学研究室発の技術ベンチャーです。泡・液体・粒子・粉体などの「界面」を、表面張力、磁気泳動、画像解析、分光・OCT等を組み合わせて可視化・定量化し、従来評価では捉えにくい製品性能や材料状態を数値化します。食品・化粧品・化学材料・電池・環境分野の企業と、評価法の共同開発、受託分析、装置・解析技術の事業化を希望しています。
16:05	パイプ内面目視検査の自動化を、世界で初めて可能にした検査装置 株式会社オートインスペクト 代表取締役 南部 修太郎 様々な樹脂や金属パイプメーカーでは、全てのパイプやパイプ状部品の内面検査が目視検査で実施されており、生産性向上の大きな障害になっています。当社は初めてその自動化を可能にした簡易型パイプ内面自動検査装置（G2）の開発製品化に成功、これまで多くの販売実績（7台）を有し、更に販路を拡大しています。また世界最大の半導体クリーンパイプメーカーからも高い関心をいただいています。更に昨年度、パイプをラックに搭載したままパイプ内面の自動検査が可能な、カメラ走査型パイプ内面自動検査装置（G5）の開発製品化にも成功、販売を開始しました。
16:15	発表企業へのコンタクト方法等の説明
16:30	閉 会